

2018 年 東京宣言

慈悲の行動

—生死の中に見出す希望—

仏暦 2561 年（2018 年）11 月 5 日から 11 月 9 日まで日本の成田市において、テーマ「慈悲の行動」の下、第 29 回 WFB 世界仏教徒会議、第 20 回 WFBY 世界仏教徒青年会議、第 11 回 WBU 世界仏教徒大学会議日本大会が開催されました。

釈迦牟尼仏陀は「生きとし生けるものが幸せでありますように」と仰いました。従って、私たち仏教徒はすべての衆生（生きとし生けるもの）の幸せを願います。この願いを現実のものとするために、第 29 回 WFB 世界仏教徒会議の参加者は以下のことを宣言します。

— 私たちは、無駄な消費の削減、リサイクル、再生可能エネルギー資源の採用など、環境に責任をもった生活スタイルを推奨します。

— 私たちは、洪水・地震・津波などの自然災害の被災者に必要な物資や心のケアを通して安心を与えることに尽力します。

— 私たちは、未来を担う子供たちの教育を支援します。世界仏教徒連盟（WFB）と世界仏教徒青年連盟（WFBY）は、2015 年の地震によって教育の機会が奪われたネパールの子供たちの支援をしています。

— 私たちは、社会的に無視されている人々、個人的な危機に直面する人々、そして彼らの友人・家族にも希望を与える手助けをします。これは、過疎の地域に住む人々への支援や終末期ケアや介護の支援も含みます。

— 私たちは、固有の尊厳（本質的に備わっている性質）、平等性、すべての人類の基本的人権を支持します。例えば、多様性と受容性、非暴力（死刑、ロヒンギャ問題など）、社会的少数者（マイノリティーグループ：LGBTQ など）の権利の保護を促進し、難民を支援します。

— 私たちは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の実現を支援します。例えば、貧困集落が生活の質を改善し、収入を増やすことができるような実用技術を身に付ける手助けをします。

— 私たちは、諸宗教間の率直な対話、協働、平和的な協力を通して世界平和の実現を目指します。